

研究課題「患者検体を用いたHTLV-1感染細胞の包括的な性状解析」にご協力くださいました患者様へ

私どもは、HTLV-1ウイルス感染症、成人T細胞白血病(ATL)をより正確に理解し、その発症予防法やより良い治療法を開発することを目指し、平成24年より「患者検体を用いたHTLV-1感染細胞の包括的な性状解析」(承認番号:24-34-1004)を実施して参りました。このたび、その後続研究として「患者検体を用いたHTLV-1感染細胞の包括的な性状解析(第2版)」(承認番号:29-50-B1106)を行うことになりました。つきましては、「患者検体を用いたHTLV-1感染細胞の包括的な性状解析」にてご提供いただき、同研究終了後の利用についてご同意いただきました試料・情報を、この研究にも利用させていただきたく存じます。

本研究に利用されることを希望されない場合には、ご遠慮なく、後掲の連絡窓口までご連絡ください。その場合でも患者様に不利益となることはありませんのでご安心ください。

対象者:「患者検体を用いたHTLV-1感染細胞の包括的な性状解析」(承認番号:24-34-1004)にご協力いただき、且つ、試料・情報の研究終了後の利用についてご同意いただいた患者様(HTLV-1キャリア、ATL患者様)

試料・情報:末梢血検体/リンパ節検体(凍結単核細胞)、診療情報(血液検査データ、臨床経過など)

利用目的・方法:フローサイトメトリーという方法で目的の細胞(HTLV-1ウイルス感染リンパ球)の分析/濃縮を行います。それらの細胞からDNA, RNA等遺伝子の情報を含む物質を取り出し、分子生物学による研究方法を用いて解析します。遺伝子の配列を決める装置(シーケンサー)を用いて遺伝子の異常を探す解析も行います。得られたデータを臨床情報と併せて解析します。

研究期間:2017年11月6日(所長・附属病院長の許可日)~2022年9月30日まで

研究体制:

研究責任者:

氏名	所属	職名
東條 有伸	先端医療研究センター・分子療法分野	教授

研究分担者:

氏名	所属	職名
小林 誠一郎	先端医療研究センター・分子療法分野	助教
川俣 豊隆	附属病院・血液腫瘍内科	助教
牧山 純也	附属病院・血液腫瘍内科	助教

内丸 薫	東京大大学院・新領域創成科学研究科 附属病院・血液腫瘍内科	教授 非常勤講師
中野 和民	東京大大学院・新領域創成科学研究科	准教授
山岸 誠	東京大大学院・新領域創成科学研究科	特任助教
中島 誠	東京大大学院・新領域創成科学研究科	学術支援職員
鈴木 穰	東京大大学院・新領域創成科学研究科	教授

お問い合わせ先： 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡窓口までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

<本研究に関する連絡窓口>

内丸 薫

(東京大学医科学研究所附属病院・血液腫瘍内科・非常勤講師・HTLV-1キャリア専門外来担当、
東京大学大学院・新領域創成科学研究科・メディカル情報生命専攻・教授)

e-mail: uchimaru@cbms.k.u-tokyo.ac.jp

〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1

電話：03-3443-8111(代)

FAX：03-5449-5418(直通)

(実施責任者：東條有伸 東京大学医科学研究所・分子療法分野(附属病院・血液腫瘍内科)・教授)